

骨盤内の筋肉が緩み、子宮やぼうこうなどの一部が膣(ちつ)から出てき
てしまつ骨盤臓器脱。おなかの内臓が垂れ下がってくる感覚や排尿障害、膣
の違和感が主な症状で、出産を経た中高年女性の4割に症状があるという海
外のデータもある。身体への負担が少なく、再発率の低いメッシュ手術が2
005年に国内に導入され、10年4月からは健康保険の適用になった。

経産婦悩ます骨盤臓器脱

3回の出産歴がある
埼玉県の川上安子さん
(65)「仮名」は10年ほ
ど前からトイレが近く
なり、尿漏れや残尿感
に悩まされるようにな
った。そのうち、風呂
に入った重いものを
持ったりしたときに、
膣からピンポン球のよ
うな丸いものが出てく
るようになった。

婦人科を受診したと
ころ、子宮の摘出が必
要だが、再発する可能
性も高いと言われ、手
術には踏み切れなかつ
た。

新聞の医療記事をき
っかけに10年7月、亀
田総合病院ウロギネコ
ロジーセンター(千葉
県鴨川市)を受診、こ
とし3月にメッシュ手
術を受けた。



「メッシュ手術」に保険適用

3カ月後、検査で来
戻っていくが、中高年
院した川上さんは「症
状はすっかりなくな
り、快適だ。ずっと悩
んでいたことがなくな
ってありがたい」と、
晴れやかな表情を見せ
た。

▼筋肉緩んで下垂
手術を担当した野村
昌良同センター長は
「骨盤臓器脱はありふ
れた病気なのに、医療
関係者もあまり知らな
い」と話す。

身体負担や再発少なく

野村さんによると、
子宮やぼうこう、直腸
といった骨盤内の臓器
は、骨盤底筋というハ
ンモック状の筋肉で支
えられている。出産で
大きく引き伸ばされた
骨盤底筋は徐々に元

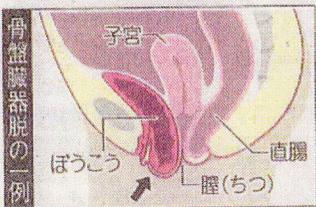
器脱または尿失禁で治
療が必要になったとい
う。下がってくる臓器
は、ぼうこうが64%、
直腸が22%、子宮が14
%と、子宮以外が美は
多い。
治療にはベツサリ
が広がってきた。手術

と呼ばれるリングを膣
内にはめる方法と、手
術がある。リングをは
める方法では違和感や
痛みを伴うことがある
ほか、2、3カ月ごと
にリングを交換する必
要がある。
手術では従来、子宮
を取って、伸びた膣を
縫い縮める手術が一般
的だったが、30%以上
の人で再発する難点が
あった。

野村さんは「子宮は
温存され、痛みは少な
い。病気の再発は1
3%と低い」と話す。
手術後1年以内に再発
しなければ、まず問題
ない。手術時間は約1
時間半で、メッシュが
安定するまで1週間程
度の入院が必要だ。

同センターでは、正
確にメッシュを挿入す
るため、手術時に超音
波診断を併用してい
る。

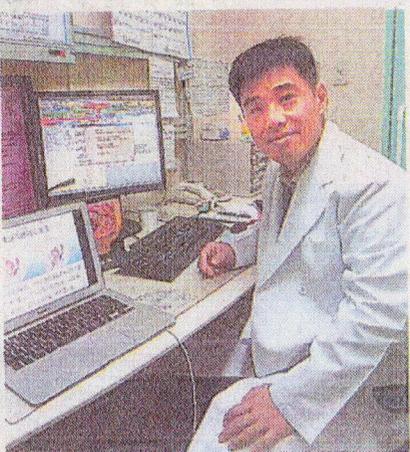
1年前にメッシュ手
術を受けた千葉県の後
藤定子さん(66)「仮名
」は「痛くも苦しくも
なかった。高齢者でも



骨盤臓器脱の症状

- おしっこが近い、漏れる、出にくい、残尿感がある
- おなかの中が下がった感じで気持ち悪い
- 残便感があり、すっきりしない
- 膣のところでピンポン球のような丸いものに触れた
- 特に午後や、運動したとき、重いものを持ったときに、膣から出てくる感じがある

亀田総合病院の野村昌良ウロギネコ
ロジーセンター長 6月、千葉市内



大丈夫だと聞いたが、
その通りだと思った」
と話す。

昨年からは健康保険
の対象になり、一定額
を超えた分が払い戻さ
れる高額療養費制度を
利用すると治療費は8
万~16万円という。全
国の女性泌尿器科や、
泌尿器科と産婦人科の
境界領域を意味するウ
ロギネコロジーを掲げ
る診療科で受診でき
る。